



当選後知事室にて上田清司県知事と

し、浦和競馬やさいたまスーパードリーナなどは民間に委託することにより大きな赤字を全て黒字に変換するが、県民にとつて大きな負担を軽減することが出来ました。まだまだ上田知事に継続してほしい思いはありますが、知事の決断には並々ならぬ覚悟と次の世代に受け渡す期待を感じました。私も上田知事から様々なことを学んだ政治家として埼玉県政を停滞させることの無いように会派の仲間と共に県民の代弁者として活動していきます。

今、埼玉県政は九三名の議員のうち五十名が「自民党」私の所属する『無所属県民会議』が十四名

上田清司県知事が十六年の県政改革の中で一番力を入れたのは数十年先を見据えた職員の意識改革

一年先は花（穫）、十年先は木、百年先は人を育てる



埼玉県議会改選後初の本会議終了

上田知事 四期十六年の任期にケジメ



視察の様子（札幌市役所前にて）

北海道会派視察

の第二会派として大きな役割を担っています。無所属では初となる議会運営委員会の副委員長が選出されるなど県議会の中で県民の声を届けることは勿論のこと、一向に進まない議会改革等の実現にも取り組んで参ります。

無所属県民会議の会派視察で北海道に行ってきた。○帯広市のフード

バレーの取り組み○埼玉
 深谷ゆかりの渋沢栄一翁
 が一八九八年に十勝開墾
 合資会社を設立し開拓の
 原動力となった清水町○
 スマート一次産業イノベ
 ション特区に取り組む更
 別村○太陽光による再生
 可能エネルギーに取り組
 む札幌市を視察しまし
 た。北海道の広大で肥よ
 くな大地を活かした取り
 組みが中心となった視察
 でしたが、地域の地場産
 業を更に進化させて官民
 一体となつて取り組む姿
 勢に学ばせていただきま
 した。農業もAIやIoTを
 取り入れ将来的には全自
 動化を目指しています。
 既に大学や研究者と共に
 実証実験も進めていて農
 業の将来が大きく変わっ
 ていくことは間違いあり
 ません。一方で、固定価
 格買取制度（FIT）で急
 激に伸びた太陽光発電で
 す。が、今後有害物質を含
 むパネルの最終処分も大
 きな社会問題になります
 ので環境保護の立場から
 も今から取り組んでいく
 必要があると考えます。
 この視察を埼玉の発展に
 活かせるように研究発信
 して参ります。（柿沼）